

**平成27年度
まちづくりコンサルタント派遣
実績報告**

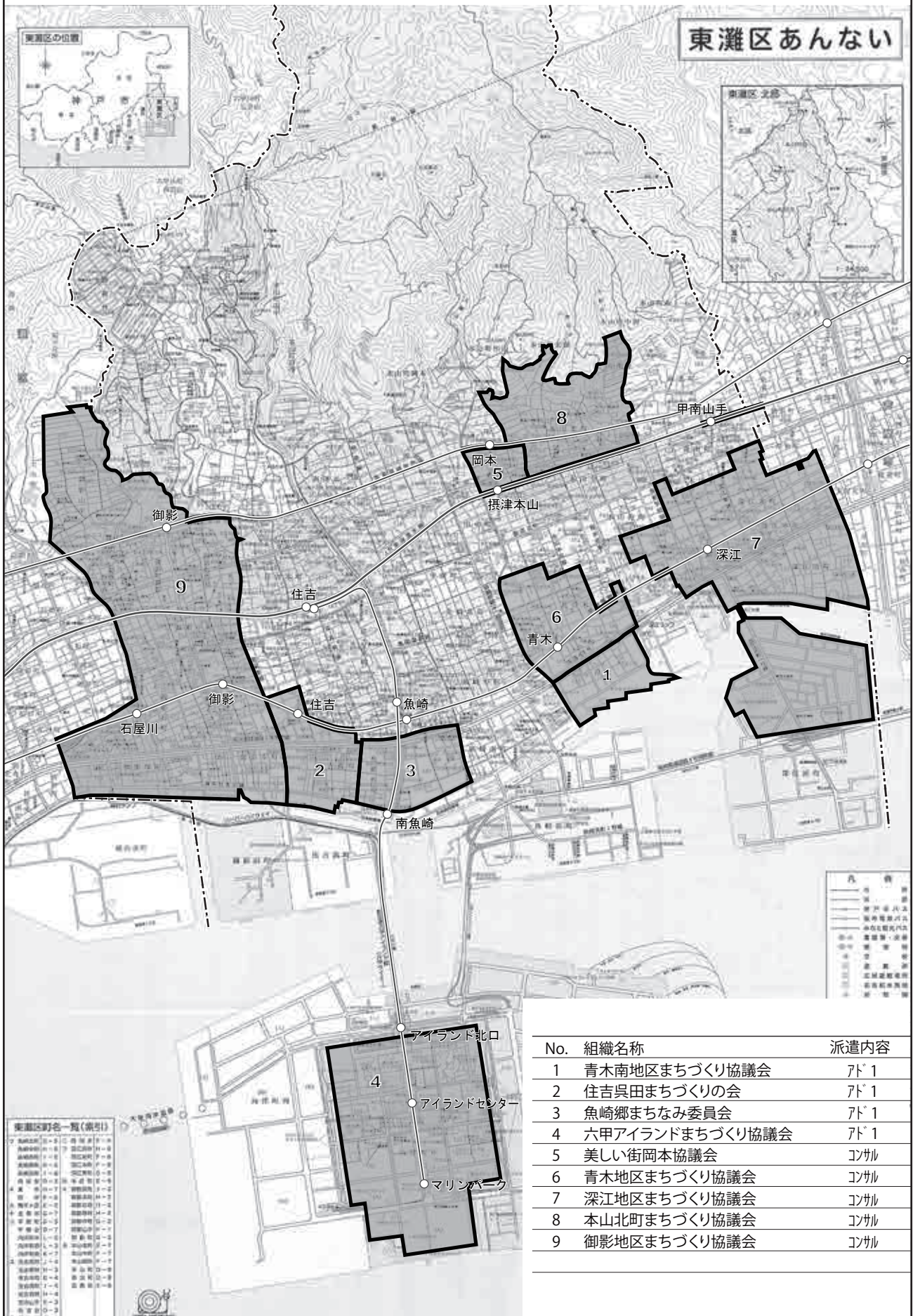
東 灘 区

**神戸市住宅都市局まち再生推進課
神戸すまいまちづくり公社**

目 次

東灘区	派遣内容		ページ番号	区域図No
1 青木南地区まちづくり協議会	アド1	...	P.2	(東灘1)
2 住吉呉田まちづくりの会	アド1	...	P.3	(東灘2)
3 魚崎郷まちなみ委員会	アド1	...	P.4	(東灘3)
4 六甲アイランドまちづくり協議会	アド1	...	P.5	(東灘4)
5 美しい街岡本協議会	コンサル	...	P.6	(東灘5)
6 青木地区まちづくり協議会	コンサル	...	P.8	(東灘6)
7 深江地区まちづくり協議会	コンサル	...	P.10	(東灘7)
8 本山北町まちづくり協議会	コンサル	...	P.12	(東灘8)
9 御影地区まちづくり協議会	コンサル	...	P.14	(東灘9)

東灘区まちづくり専門家派遣地区 区域図



— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	青 木 南 地区		
所在地	神戸市 東灘区 青木 1丁目の一部、2丁目、3丁目		
世帯数・地区面積	1,200 世帯 21.9 ha		
派遣目的	○まちづくり協定運営委員会への技術的支援 ○まちづくり協議会運営支援		
本年度の 活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなっ たのか具体的にご記入 ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	27年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	まちづくり協議会役員会へ出席し、会議の運営支援
難行した点 有効だった点	○まち協活動途中からの派遣であり、過年度におけるまちづくり協議会の活動内容・経緯がよくわからず、手探りで参加した面がある。 ○自立的に活動を始めつつある地区であるが、活動がリーダーの個人的な思いによる内容に偏りがちなところがある。 ○住民と思いを共有し、計画的に活動すべきことを理解していただき、来年度にまちの問題点・課題、まち協活動の内容を抽出する住民アンケートの実施を決めた。		
今後の課題	○まちづくり協議会発足当時からの役員が頑張っておられるものの、新たな人の参加がないため、人材の発掘、参加が望まれる。		

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 石井計画工房

記入担当者 石井 敬三 (連絡先) (078) 969 — 6101

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	住吉呉田 地区		
所在地	神戸市 東灘区 住吉南町1～4丁目の全域、住吉宮町5丁目の一部		
世帯数・地区面積	約1,600世帯 ※H27.12末住民基本台帳 32.2 ha		
派遣目的	- まちづくり構想「安全で住みよいまち」の実現に向け、地区計画の検討 - まちづくり協定の運用や構想の実現に向けた取り組みの実施		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的に記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	27年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	1) 役員会（毎月1回開催） - まちづくり協定の更新について - 防災や交通のまちづくりについて 2) 協定運用委員会など - 協定運用委員会の開催 3) その他の活動 - 平成27年5月 定期総会・講演会 - 平成27年11月 夜間防災まち歩き調査 二工区工場見学会 - 平成27年12月 わいわいフェスタで 防災工作体験とパネル展示 4) ニュースの発行 - 第101号～第106号発行
難行した点 有効だった点	（有効だった点） まちづくり協定に明らかに違反するワンルームマンションの申請があったが、デベロッパーとの話し合いの結果、設計担当が協定の存在を見落とすミスが原因と判明し、計画を変更することで結着がついた。この件で、協定の効果が確認出来た。		
今後の課題	まちづくり協定策定時には、次のステージとして地区計画を想定していたが、協定10年の見直し検討の段階で地区計画は当面目指さないことになった。 まち協役員の関心は、防災や福祉に向いており、それらの活動の中から都市計画的課題を探すことになりそうである。		

アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 遊空間工房

記入担当者 野崎 隆一（連絡先）（078）261-0337

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	魚崎郷 地区	
所在地	神戸市東灘区魚崎西町1丁目、魚崎西町2丁目、 魚崎南町4丁目、魚崎南町5丁目	
世帯数・地区面積	約2,000世帯	約 31.4 ha
派遣目的	協働のまちづくりを推進するため、地域のまちづくりを検討する団体等に対し、専門的・技術的なアドバイス等を行う。	
本年度の 活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなっ たのか具体的に記入 ください	年度	種別 (いずれかに○)
	27年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント ・この数年景観形成市民協定に基づく事前協議に際し、まちなみ委員会からの提案や協議を容れられないことが、建売住宅等のケースで増加傾向にあることは昨年述べた。今年度は比較的建売住宅案件は少なかったが、その傾向は否めない。引き続き、事前協議のタイミングや協議手法などにつき、改善のための議論を重ねる必要がある。 ・他都市研修、開港五都市神戸大会への積極的なサポート参加など、交流や情報交換の場を通じ、魚崎郷のまちなみ再発見を果たす機会が多く持たれた。
難行した点	【難航した点】 ・これまで同様、委員会において、出席者の主体的かつ活発な議論展開を生むことが難しい状況からは、依然として抜け出せていない。各回単発のアドバイザーの立場ではそこへ踏み込むことが難しく、支援に限界がある。	
有効だった点	・行政側と地域のみならず、住民間、委員間でも目指すまちの空間像が共有できていないと感じる。めざす街並みのかたちについて深い議論ができればよいが、その意欲を感じない。市政の中での当地区のまちなみ景観の位置づけを行政側からも何らかの形で示すことが望ましいのではないか。	
今後の課題	【有効だった点】 ・景観道路の愛称看板の設置場所等につき、敷地や施設所有者との主体的な交渉を進めたことは、活動成果として評価できる。	
	・「まちなみニュース」再編が進められ、これまでとは印象を一新した広報紙が作られたことは大きな前進であった。	
	・新たな委員の参加があり、委員会の新陳代謝が期待される。新入メンバーが楽しく気がねなく会にとけこみ発言できる気運を醸成されたい。	
	・会議のファシリテーションや、事前協議の検討手法のバリエーションを紹介するなどの支援を進めたいが、主体的相談の起こらない現状でアドバイザーの立場で提案や支援を行うことには依然として限界がある。	
	・これまで同様、地域の酒造メーカーの、主体的な参加土壌は依然として生まれない。事業者と協働することがより効果的な地域であるはずなのだが、難しい。	

アドバイザー・コンサルタント名 北野工作室 野口 志乃

記入担当者 同上

(連絡先) (078) 241 - 9535

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	六甲アイランド地区（六甲アイランドまちづくり協議会）		
所在地	神戸市東灘区 向洋町中1～9丁目		
世帯数・地区面積	約7,000世帯 約400事業所		約138ha
派遣目的	六甲アイランド地区を、良好な景観、快適な環境、安全安心な住み良いまちにするための、対象団体の取り組みに対して、専門的・技術的な支援を行う。		
本年度の 活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなっ たのか具体的に記入 ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	27年度	アドバイザー アドバイザーⅡ コンサルタント	- まちづくりの具体的展開に向けた検討 - まちの景観的課題の共有化と まちの将来像の検討 - マンション新築計画への対応 (街角広場の確保と建築修景) 「野鳥公園」活用事業 - まちづくり協議会の会議等での技術的支援 - 総会、委員会、運営会等 - まちづくり活動の周知および住民の意識啓発支援 - ニュースの発行(4回) - vol.37 景観形成の方向① - vol.38 総会開催広報と活動報告 - vol.39 総会報告と景観形成の方向② - vol.40 今年度の活動報告
難航した点 有効だった点	昨年の新規マンション建設に続き、今年はさらに新しいマンション計画が持ち上がった。そこで昨年の反省から、1986年に策定された「六甲アイランド 景観形成計画」を再度勉強し直すとともに、まち歩きやワークショップ等を再度実施し、この街の景観に関する評価基準の一層の共有化に努め、マンション事業主体との調整を続けている。 また昨年度に引き続き、長年未整備であった野鳥公園の再活用についても自主的・積極的に取り組まれている。		
今後の課題	地区計画の見直しというある意味オーソドックスなテーマではじまったまち協の活動ではあるが、まちづくり協議会も島内に数ある住民組織の一つであり、必ずしも地域の総意を確認しうる組織となり得ていない。 まちに対する意見・意向を表現する人が非常に多い状況のなかで、真のまちづくりを実現するためには、これら多様な価値観を協調させうる体制強化と組織間調整、そして新たな人材発掘が不可欠であることに変わりはない。 今年度で期限がきた神戸市とのパートナーシップ協定の協定母体であった「まちかどネット」が今後もどれほど有効に作用するかが鍵となっている。その上での「まちづくり協議会」の活動である。		

アドバイザー・コンサルタント名

株式会社 地域問題研究所

代表取締役 山本俊貞

記入担当者

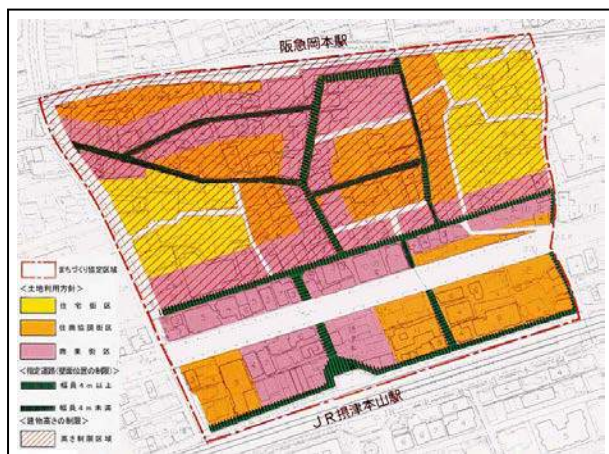
山本俊貞

(連絡先) (0798) 64-1106

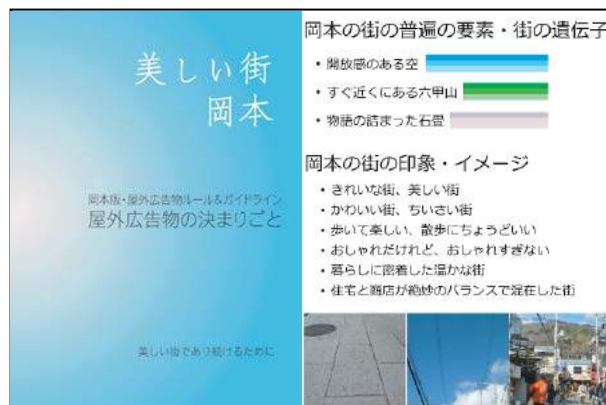
美しい街岡本協議会

位 置	神戸市東灘区	地区の性格	住商混在地区
面 積	約10.8ha	世 帯 数	約1,300世帯
設立年月	1982年9月	設 立 主 旨	美しい街並みの岡本、豊かな自然のある岡本、健全な青少年をはぐくむ清潔な街づくり
連絡先	アピールしたいことを一言！ 商業者と住民が思いを共有できる岡本版・屋外広告物ルール&ガイドラインを仕上げることができました。協議体制・運用体制を整え、街を彩る素敵なお店や看板を増やし、岡本らしさを守り育てていきます。		

区域図



活動の様子



足掛178年の歳月を要してできた「岡本版・屋外広告物ルール&ガイドライン」。平成27年12月景観計画が変更され、渾身の新しい冊子も完成

これまでの活動の概要

【まちづくりの目標】

岡本らしさを生かしつつ、より健全な地区環境の形成を図るため「うるおいと調和のある美しいまち」を基本理念に次の3つをまちづくりの目標としている。

- ・生活基盤のととのったまち
- ・住宅と店舗が共存・共栄するまち
- ・美しさと文化性が感じられるまち

【まちづくりのルール】

これまでに3つのまちづくりルールを策定し、美しいまちづくりに取り組んできた。

- ・岡本地区まちづくり協定
(昭和63年5月、平成21年10月協定内容変更)
- ・岡本地区地区計画(平成元年3月)
- ・岡本駅南都市景観形成地域(平成2年10月)
- ・もっと美しいまち岡本まちづくり宣言(平成21年5月採択)

【震災後の取り組み】

平成11年「まちづくりスポット創生事業」制度を活用し、暫定的に空地进行してポケットパーク「岡本花苑」を整備。その後も地区内に花壇やフラワーポットを設置し、花緑のある街を演出。近年は、会員同士の交流を密にしていこうと、会員に街に関心を持ってもらえるきっかけづくりに重点を置いた活動(イベント)を行ってきた。

平成21年度に、まちづくり協定の内容変更、まちづくり宣言の採択。平成21年度から検討を重ねてきた「岡本版・屋外広告物ルール&ガイドライン」は、神戸市のルールとして平成28年3月25日より施行。平成28年度から3年間集中的に既存不適格物件の撤去・更新を促進する活動に取り組む他、引き続きルール運用体制づくりを行っていく。



岡本サマーフェスティバルにまち協活動PRブースを出店。事前協議の制度そのもののPRと事前協議の成果PRのため成果が分かりやすい事例を紹介



毎年3月、9月の恒例行事クリーン作戦に加え、今年度からクリーンクルー活動(ゴミ拾い活動)を毎月第4土曜日に実施している

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	岡本地区		
所在地	神戸市東灘区岡本1丁目全部、5丁目の一部、本山北町3丁目の一部		
世帯数・地区面積	1,300世帯		10.9ha
派遣目的	岡本地区をうるおいと調和のある美しいまちにするため、美しい街岡本協議会の平成27年度の活動である、屋外広告物景観形成ルール&ガイドラインの運用体制および協議体制づくりの支援、新たな街並み形成ルール導入の検討に対して、専門的・技術的な支援を行う。		
27年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的にご記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	27年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	(1)新たな街並み形成ルールの検討支援 ①地区計画等街並み形成ルールの検討 ・新たな街並み形成ルールを検討するにあたり、今後のまちづくり、まちの将来像について、幹事会を中心に意見交換を行った。 (2)会議等での技術的支援 ①専門的資料の作成、助言 ・月例幹事会への出席、助言。 ②まちづくり協定の運用にあたって専門的な助言 ・まちづくり宣言賛同者の募集、事前協議案件の処理 ③屋外広告物ルール&ガイドラインの運用及び体制についての助言 ・景観計画変更に合わせて、ルール&ガイドラインのパンフレットの発行・配布、周知活動を展開 ・平成26年度に作成した協議フローをもとに、事前協議を実践。メール及び電話等によるやり取りなど事務的・専門的なフォローを行いながら、将来的には、地元だけで行える運用体制、協議体制をつ目指して、運用及び協議体制づくりについて助言。 (3)まちづくり活動の周知および住民の意識啓発の支援 ①まちづくりニュース等の原稿作成支援 ・季刊報「美しい街岡本」(6、10、1、3月の年4回)の発行 ②岡本サマーフェスティバルでのまちづくり活動の周知支援 ・岡本サマーフェスティバルにまち協ブース出展(まち協活動を知ってもらうきっかけづくりのアンケート&クイズ(A&Q)実施、事前協議制度と事前協議の成果の紹介パネル展示)
難航した点 有効だった点	平成26年7月市長提案を行った「屋外広告物ルール&ガイドライン」について、神戸市諸手続きを経て、神戸市景観計画が変更(平成27年12月告示、平成28年3月施行)された。地域の実状に合わせたきめ細やかな独自ルールが神戸市景観計画に位置づけられたことは大きな成果である。景観計画変更に合わせて、ルール&ガイドラインのパンフレットの発行・配布、周知活動を行った。一方、屋外広告物ルール&ガイドラインの運用体制づくりについては、昨年度検討した「事前協議フロー」をもとに事前協議を実践する中で、新たな課題も見えてきた。 また、平成27年度は新幹事が加わったこともあり、まちづくりのバトンを次世代に渡すための準備や、今後の活動について模索した1年となった。平成26年度に意見交換を行った今後のまちづくりで取り組んでいきたいテーマ・内容(既存ルールの見直し、ポイ捨て等マナー向上運動の強化、ガーデンタウン岡本の実現に向けた取り組み、地域の核となる施設の検討など)を整理した。まずは、新幹事や協議会員と一緒に取り組みやすいこととして、新幹事を実行委員長としたクリーンクルー活動を開始した。		
今後の課題	平成27年度に実践した新しい協議体制の中で見えてきた課題、地域活動の継続・次世代への引き継ぐことを考えた時に協議会が抱える課題などを見据えた上で、今後の屋外広告物専門委員会の運営・あり方についての検討、事前協議体制・サポート体制について考えていく。神戸市実施の既存不適格物件の調査結果を踏まえた、更新・撤去の促進、優良広告物を増やすための取り組みについては、実現したいまちの姿を描きながら、まずは、3年間という期間を区切って集中的に取り組む。 10年後、20年後を見据えた新たな街並み形成ルール等の検討や、今後のまちづくりの方向性については、設立当初に掲げた協議会の目標・活動主旨を再認識するとともに、景観まちづくりに対する理解を一層深めていきながら、幹事会での意見交換を重ねていきたい。		

※入力フォーム(EXCEL)が必要な方はメールでお知らせください。

アドバイザー・コンサルタント名

合資会社ゼンクリエイト

根津昌彦

記入担当者

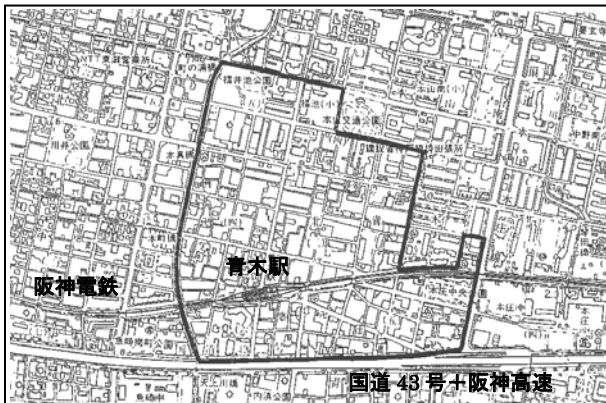
根津昌彦

(連絡先) (0798) 37-1152

青木地区まちづくり協議会

位 置	神戸市 東灘区	地区の性格	震災後のマンション化が顕著な多子高齢化 住宅地区
面 積	約 43 ha	世 帯 数	約4,500世帯
設立年月	H17. 2. 27	設 立 主 旨	阪神連立対応と住みよい住環境の維持、形成
連絡先	アピールしたいことを一言！ 新旧住民・マンションコミュニティの構築を目指す。 （2小学校区、2連合自治会（2財産区）の一部にまたがる地区）		

区域図



活動の様子



役員会での検討の様子

これまでの活動の概要

H17. 2. 27 まちづくり協議会設立

H17 年度

- ・第1次まちづくりアンケート：問題点・課題
- ・駅前美花スポット整備
- ・青木ふれあいフェスタ開催（以後、毎年開催）

H18 年度

- ・第2次まちづくりアンケート
- ・バリアフリーまち点検、「青木 U D マップ」

H19 年度

- ・（仮称）連立協を組織化：まち協が事務局機能
- ・アンケート：阪神連立に関連する駅前道路のあり方について（自治会、商店街等の協力により実施）

H20 年度

- ・青木駅舎下の南北空間を繋げる「要望書」提出

H21 年度

- ・側道及び交通体系の検討
（「道路と交通を考える」講演会、事例見学会）

H22 年度

- ・第1次実施地区（阪神以南）で地区計画検討
- ・交通体系検討部会（講演会、見学会等）

H23 年度

- ・総会にて「地区計画（まち協案）」決定

H24 年度

- ⇒神戸市へ提案（6/27）

H25 年度

- ・阪神電鉄北側エリアの土地利用誘導検討

H26 年度

- ・わがまち空間構想、地区計画（阪神以北）

H27 年度

- ・阪神電鉄北側側道・高架下・駅周辺整備検討



役員会での検討の様子



駅周辺整備イメージ図（検討段階の案）

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	青 木 地区		
所在地	神戸市 東灘区 青木5・6丁目、北青木2～4丁目、本山南町3～5丁目		
世帯数・地区面積	約 4,500 世帯		約 43 ha
派遣目的	・土地利用誘導、規制（地区計画、まちづくり協定の締結） ・阪神電鉄連続立体化事業に対応したまちづくりの推進		
27年度の活動内容及び成果	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	27年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタント	H27.4～6 昨年度末に実施した「わがまち空間構想・地区計画」アンケートの追加回収を実施するとともに、阪神電鉄北側側道・高架下利用等の検討を本格的に開始 H27.7～28.1 会長が指名したプロジェクトリーダーにより、北側側道一部区間の検討を進めたが、リーダーの個人的意見に固執し、順調な検討が困難 H27.11～28.2 役員全員の投票による「役員会（案）」の策定に着手 警察より交通規制の基本的な考え方、都市整備課より交通シミュレーション結果の報告 H28.1～3 まち協における民主的で、健全な検討を進めるため体制の整備
難航した点	・まち協設立時、R43以北の青木・西青木村の区域をまち協区域としたが、地区北側が住居表示により本山南町となったことから、「青木地区」と認識されず、アンケート調査等において難航した。 ・特定の役員による案の押しつけ、説明不足等により、まち協活動が混乱した。		
有効だった点	・上記混乱はあったものの、却って役員の民主的な運営への機運が高まった。 ・役員会において、北側側道等の検討に際し、立場の異なる居住者、事業者等の素直な意見が交わされるようになってきた。		
今後の課題	○阪神電鉄北側側道・高架下利用・駅周辺整備等、阪神電鉄連続立体化事業に対応したまちづくりの推進、合わせてゾーン30等の交通安全対策 ・市へ提案するにいたらなかった「わがまち空間構想・地区計画（案）」の地区独自による宣言・憲章等の検討 ・多子高齢化、環境問題等 将来にわたる問題の認識化 ・マンションコミュニティの構築		

※入力フォーム（EXCEL）が必要な方はメールでお知らせください。

アドバイザー・コンサルタント名 (株)石井計画工房

記入担当者 石井 敬三

(連絡先) (078) 969 — 6101

深江地区まちづくり協議会

位 置	神戸市東灘区	地区の性格	深江浜手に位置する、庶民的で住み良い街
面 積	約170ha	世 帯 数	約12,000世帯 ※H27.12末住民基本台帳（一部区域は面積按分で算出）
設立年月	平成2年7月	設 立 主 旨	良好な住環境の形成（保全、改善、整備）
代表	アピールしたいことを一言！ ・現在、地区計画案と阪神深江駅周辺の連続立体交差に伴うまちの将来構想の作成に取り組んでいます。南町に部会も設立されました。		

区域図



活動の様子



阪神連立関連まちづくり部会では、警察署や小学校・中学校と意見交換を行い、阪神電鉄沿いの道路の提案を検討しました。



深江本町「地区計画」推進部会では、アンケート回収、説明会の結果を踏まえ、地区計画（部会案）の見直しを行いました。



平成27年9月に、南町部会を設立しました。現在は、まちの課題を共有し、今後の活動について検討を進めています。

これまでの活動の概要

- 平成 2 年 7 月：深江地区まちづくり協議会設立
5 年 6 月：まちづくり協議会の認定
8 月：「まちづくり提案」の提出
7 年 11 月：まちづくり協定の締結
9 年 6 月：深江駅前花苑の設置
11 年 1 月：第2期「まちづくり提案」提出
12 年 3 月：深江駅前ほっとスポットの整備
16 年 10 月：国道43号沿道防災緑地としての花壇が完成
20 年 6 月：新深江まちづくり構想の策定
21 年 11 月：阪神深江駅南地区地区計画（協議会案）を提案
22 年 2 月：第1回深江地域交流バザールの開催
6 月：阪神深江駅南地区地区計画の都市計画決定
9 月：阪神連立関連まちづくり部会の設立
11 月：第1回深江歴史探訪まち歩きイベントを実施
25 年 2 月：深江南町で地区整備計画を策定（都市計画の変更決定）
3 月：深江本町「地区計画」推進部会の設立
27 年 9 月：南町部会の設立

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	深江 地区		
所在地	神戸市 東灘区 深江南町、深江本町、深江北町の全部と 本庄町、深江浜町の一部		
世帯数・地区面積	約12,000世帯 ※H27.12末住民基本台帳 (一部区域は面積按分で算出) 約 170 ha		
派遣目的	深江地区において、「健全な都市構造・住環境の整備・改善」をめざし、深江地区まちづくり協議会が行う阪神連立立体交差事業に伴う深江駅周辺の将来構造の検討や深江本町における地区整備計画策定に向けた検討等に対して、専門的・技術的な支援を行う。		
本年度の 活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなっ たのか具体的にご記入 ください	年度 27年度	種別 (いずれかに○) アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ コンサルタフ	活動内容及び成果 1) 理事会 (毎月1回開催) ・まちづくり協定の更新、パンフレット、協議会の体制づくりの検討や、各部会の進捗状況の確認 ・年度ごとに、活動報告を配布。 2) 阪神連立関連まちづくり部会 ・部会案の意向確認やスケジュールについて検討 ・警察署、小学校・中学校との意見交換 ・最終確認まち歩き 3) 深江本町地区「地区計画」推進部会 ・アンケート調査票の回収 ・アンケート調査結果・主な意見と部会見解案を配布、説明会を開催 ・地区計画案の見直しと見直し案の配布 4) 南町部会 ・平成27年9月に第1回部会を開催、防災や美緑化について学習、検討 5) まちづくり協定の運用 ・対象物件5件について審議
難行した点 有効だった点	1) 阪神連立関連まちづくり部会 方向性の集約が課題だったが、警察を呼んで協議を行ったことで、現実な方向性が固まった。 2) 深江本町地区「地区計画」推進部会 アンケート回収に苦労したが、ようやく70%ラインを突破。ルール案の見直しの具体的検討に入ることが出来た。		
今後の課題	2) 深江本町地区「地区計画」推進部会 アンケート結果を反映した見直し案が固まったが、数多く出された意見にQ & Aや個別対応、説明会を行っていく必要がある。		

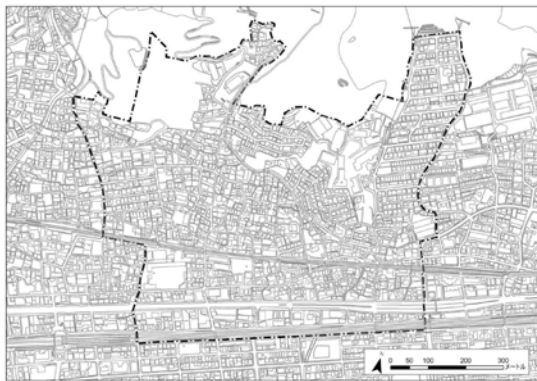
アドバイザー・コンサルタント名 株式会社 遊空間工房

記入担当者 野崎 隆一 (連絡先) (078) 261-0337

本山北町まちづくり協議会

位 置	神戸市東灘区	地区の性格	山麓住宅市街地
面 積	約57ha	世 帯 数	約2,600世帯
設立年月	2012.12	設 立 主 旨	歴史・文化を継承した安全で安心なまちづくり
		アピールしたいことを一言！ 地域の歴史や文化を受け継ぎながら、暮らしやすく安全で安心な市街地への改善を図り、豊かな緑や眺望、街並みなど、このまち独自の価値を活かした豊かな生活環境を育むまちづくりを推進します。	

区域図



活動の様子



活動の概要

●定例会

月1回、北畑会館にて定例会を開催。
 その他、総会（1回）、現場確認（1回）を実施。
 活動報告のニュースレターを1回発行。

●まちづくり構想の策定に向けた取り組み

- ・ニュースレターにてまちづくり構想（素案）の内容を知らせるとともに、意見募集を実施。
- ・集まった意見をもとに素案を修正し、まちづくり構想（案）を策定。
- ・そして区域内の全ての土地・建物所有者を対象とした合意確認アンケートを実施。
- ・アンケート結果は以下の通り
 回収率 85.3%
 活動への賛同率 99.1%
 構想案への賛同率が 99.4%。
- ・次年度の総会で「まちづくり構想」を提案し審議を実施。その後、市長提案を行う予定。

短期的課題に挙げられた箇所の現場確認



まちづくり構想（案）



まちづくりニュースレター

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	本山北町 地区		
所在地	神戸市 東灘区		
世帯数・地区面積	約2,600 世帯		約57ha
派遣目的	本山北町地区において、安全・安心なまち、良好な住環境を形成するための、対象団体の行う取り組みに対して、専門的・技術的な支援をする。		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的に記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	27年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ ○コンサルタント	●まちづくり構想の策定に向けた取り組み ・まちづくり構想策定に向けた検討を進めている。今年度の総会において可決されたまちづくりの目標を踏まえ、構想案全体を作成するべく、まちあるき及びワークショップを実施した。その結果をもとに、定例会議における意見交換を経て、まちづくり構想（素案）および短期的課題をまとめた。内容をニュースレターで全戸に広報するとともに、意見提案用紙を配布した。今後、素案の修正を行い、合意確認のアンケートを実施する予定である。 ●定例会の開催と情報発信 ・月1回、北畑会館にて定例会を開催している。その他、総会（1回）、まちあるきを含むワークショップ（2回）、役員会（1回）を行った。また活動報告のニュースレターを2回発行している。
難航した点 有効だった点	●難航した点 ・エリアが広域であるため、現段階では参加者が不在の「空白地帯」が存在する。地域特性が異なるため、問題意識の共有が難しい。個別の課題や取り組みテーマを、第三者の視点からでも投げかけていく必要があるのかもしれない。 ●有効だった点 ・これまでの検討会・ワークショップ・アンケートでの意見聴取から、短期的課題のみを抽出した整理を行った。そのうち、いくつかの改善が実施された。具体的な成果は参加者のモチベーションの維持・向上とともに、潜在的な参加者へのPRにもつながった可能性がある。		
今後の課題	「まちづくり構想」の提案を総会で審議し、市長提案を行うことが次年度の最初の課題である。その後、中長期的課題の具体化に向け、整備計画をまとめていく。並行して、地元の大学との連携策のあり方や景観ガイドライン等の検討などを徐々に展開していく予定である。		

※入力フォーム（EXCEL）が必要な方はメールでお知らせください。

アドバイザー・コンサルタント名

株式会社 都市調査計画事務所

記入担当者 田中正人 （連絡先）（078）453—6378

— 専門家派遣地区データ及び成果 —

◇まちづくり計画

派遣地区名	御影 地区		
所在地	神戸市 東灘区 御影		
世帯数・地区面積	13,345 世帯		235 h a
派遣目的	美しく豊かで健全な御影のまちづくりを推進するための対象団体の取り組みに対して、専門的・技術的な支援をする。		
本年度の活動内容及び成果 ・いつ・何が・どうなったのか具体的に記入ください	年度	種別 (いずれかに○)	活動内容及び成果
	27年度	アドバイザーⅠ アドバイザーⅡ ○コンサルタント	<山手部会> まちづくり構想の策定に向けたアンケートを実施した。集計結果をもとに、構想の内容をまとめていく上で、4つの作業部会を立ち上げた。次年度、構想案を策定し、合意確認アンケートに入る予定である。 <阪神御影駅周辺部会> 前年度に着工した御影駅北側商店街「一六筋」の再整備がほぼ完了した。御影駅南側広場（バレンタイン広場）の維持管理活用について継続的な協議を行い、定期清掃、防犯カメラの管理、ベンチ・花壇等の適正管理などを実施するとともに、広場のPRと住民交流を目的としたイベントを3月に実施した。 <浜手部会> まちづくり協定に基づく案件の審議を行った。現在、一戸建ての専用住戸は審議対象としていないが、まとまった開発などは対象に加えた方がよいのではないかという議論があり、今後の検討課題としている。
難航した点 有効だった点	・有効だった点 まちづくり構想の策定段階で、テーマ別の作業部会を設置した。まだ軌道に乗ったわけではないが、参加者の自主的な行動を促し、地域の主体性を高めるきっかけとなることが期待される。（山手部会） ・難航した点 いわゆる「迷惑施設」に相当するインフラの整備が実施されることになり、その受け入れをめぐる地区内にコンフリクトが生じている。自治会やまちづくり協議会の運営にも影響が出始めている。（山手部会）		
今後の課題	・まちづくり構想案の策定、合意確認アンケートの実施（山手部会） ・阪神御影駅高架沿い道路整備の推進（阪神御影駅周辺部会） ・まちづくり協定の運用、審議対象の再検討（浜手部会）		

※入力フォーム（EXCEL）が必要な方はメールでお知らせください。

アドバイザー・コンサルタント名

株式会社 都市調査計画事務所

記入担当者 田中正人 （連絡先）（078）453—6378